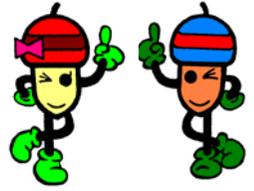




21世紀の森と広場

どんぐり



パークセンターだより 第123号 2013年10月・11月号

秋の野菜で好きなもの・・・

薩摩芋（サツマイモ・甘藷かんしょとも書く）

みどりの相談員
はしもと くらし
橋本 倉司

この文章を読んでいるところは、暑い夏も去り、涼すずくなっているのでしょうか。（残暑ざんしょ厳しいなかで、涼すずくなっている10月を思いながら書いています。）

10月といえば、十三夜じゅうさんや。今年は、10月17日。十五夜じゅうごやは「お月見」で有名ですが、十三夜は、あまり知らないかと思えますがどうですか。十五夜に次いで美しい月とされています。十三夜は日本固有の



風習ふうしゅうで、秋の収穫祭しゅうかくさいの一つではないかと考えられています。この時は、すずきや秋の七草ななくさ かざを飾り、団子だんす13個と大豆まめや栗くりを中心にした秋の農作物のうさくぶつや果物くだものをお供えそなします。ということで、秋が旬しゅんの野菜について。

さつまいも・じゃがいも・おおば・しいたけ・まいたけ・みょうが・とうがん・玉ねぎ・ゴーヤ・しめじ・さといも・マッシュルームなど・・・・・・・・。

この中でも、誰にも好かれているのがサツマイモ。というわけで、今日は、サツマイモについてのお話となります。

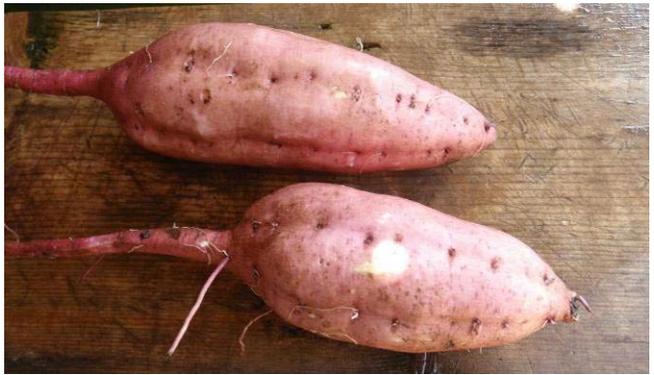
サツマイモは、ヒルガオ科サツマイモ属の植物。



仲間に、アサガオやクウシンサイ
(空心菜)があります。日本にお

ける主産地は、鹿児島県・
茨城県・千葉県・宮崎県・徳島県

が全国のトップ5県です。また、
歴史的に見ると、1734年、青木
昆陽が、薩摩藩から甘藷の苗を取り
寄せ、「薩摩芋」を江戸小石川



植物園、下総の幕張村(現千葉県花見川区)、上総の九十九里浜の不動堂村(現：
九十九里町)において試験栽培し、1735年栽培を確認。これ以後、東日本に
も広く普及するようになりました。というように、千葉県とはなじみのある野菜
でもあります。

栽培方法もとっても簡単。生育適温は25~30℃と高温を好むので暖かくな
ってから、始めましょう。土もあまり選びませんが、排水のよい土地の方がよ
いでしょう。チッ素分が多いとツルばかり伸びて、イモが太らないので肥料もい
りません。

苗の植えつけ適期は、5月中旬~6月中旬です。苗は、ホームセンターなどで
買えます。

でも、芋を買ってきて、その種芋から伸びたツルを切り取って苗を作ること
もできます。

少し高畝を作って挿します。挿し方はいろいろ。ツルが伸びたら、ツル返しを
してやります。後は、秋の収穫までお楽しみ。

発泡スチロールの箱などに植え、屋根などの上に置けば、今はやりの緑のカー
テンにもなります。また、小さな芋をお皿に入れて、水栽培もできます(観賞用)。
サツマイモにアサガオを「接ぎ木」するとサツマイモにアサガオの花が咲きます。

みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな
質問に無料でお答えします。電話でもお受けしています。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時~12時・午後1時~3時30分

【電話】 047-345-8738
ハナミツバチ

みの 実りの秋～実やタネの季節～

自然解説員
かとう ゆういち
加藤 裕一

実りの秋です。秋は、花だけでなく、実やタネも観察できるので、植物観察の楽しさが倍増します。公園内で見ることのできる個性豊かな実やタネを、いくつか紹介したいと思います。



左の写真は「カラスウリ」です。鮮やかなオレンジ色が印象的です。林のへりやフェンスなどに絡まっているのをよく見かけます。花は夏に咲き、その後うすい緑色をした若い実が徐々にふくらみ、秋になると急にオレンジ色に変化していきます。ちなみにカラスウリの花は日が暮れてから咲き、びっくりするほど美しいので、まだ見たことが無いという方は、来年の夏に、ぜひ探してみてください。きっと感激しますよ。

カラスウリと同じくウリの仲間ですが、右の写真は「スズメウリ」です。カラスウリの実とは5センチくらいになりオレンジ色なのでとても目立ちますが、このスズメウリはせいぜい1センチくらいで、白く熟します。カラスウリに比べはるかに小さく弱々しいのですが、時折たくさん実がなることがあります、そうなるとうなりでとてもかわいいです。少し湿った場所に生え、公園内では野草園や生態園で見かけますが、それほど多くありません。なのでこの実に出会うと、ちょっと得した気分になりますよ！



次は真っ赤な実です。左の写真は「ノイバラ」です。ノイバラも、やや湿り気のある場所に生えるので、スズメウリと同様に、野草園や生態園で多く見かけます。初夏に、良い香りのする白い花が咲き、それがやがて実になり、赤く色付きます。とてもきれいな実なので、つい枝を引き寄せて観察したくなりますが、ノイバラという名の通りバラの仲間なので、鋭いトゲがあります！観察の際はトゲに注意して下さいね。

今度は、マメの仲間、「ツルマメ」を紹介します。ツルマメも、湿り気のある場

所に生える植物で、特にヨシが
生えるような湿地しっちに多いです。

実の形は、枝豆えだまめを小さくした
感じで、とても毛深いです。
この実は、熟すと、とても面
白いことをやってのけます。

なんと自力じりきで弾けるのです。弾
ける勢いきおいで、中のタネを飛ばすので

す。ツルマメがたくさん生い茂った場所で少々立ち止まって耳を澄すましてみま
しょう。きっと“ピキッ”とか“チキッ”という音に気付くと思います。その音こ
そ、ツルマメがタネを飛ばしている音です。

なんだか花火のような形に見える左の写真は「コセンダングサ」です。林のへ

りや空き地、河川敷かせんしきや田んぼあぜの畦など色々なところに生え、

代表的な秋の雑草の一つです。このタネ、触さわってみると、

なんだかザラザラしませんか？虫眼鏡むしめがねでのぞいてみま

しょう。先端せんたんのトゲの部分やタネの表面に小さなトゲが
並んでいるのが見えると思います。これがザラザラする

原因で、服や靴にとってもよくくっつきます。秋に公園内
で元気一杯遊んで帰ると、服のどこかにコセンダングサの

タネがきっとなついていてと思います。繊維せんいによく絡からまるので、

洗濯せんたくしてもタネは取れません。一つ一つ手で取るしかありません。

最後に登場するのは「イヌタデ」です。“あかまんま”

と呼んでままごとで遊んだ方も多いと思います。秋の後

半にイヌタデの穂ほに触ふれると、ピンク色の粒つぶつぶ々がぽろ

ぽろと落ちてきます。これを指先ゆびさきで強めにこすり合わ

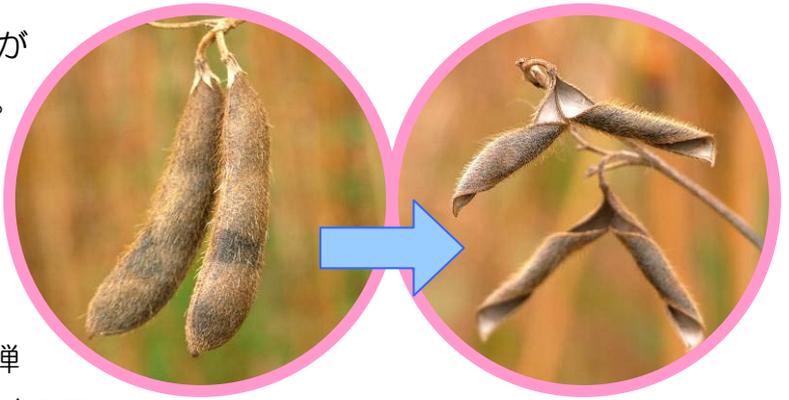
せてみると、中から黒いタネが顔を出します。写真を
よく見て下さい、三角形をしているのがわかります

か？とても小さいですが、つやがあり、かたく、三角形
をした面白いタネです。

このほかにも、秋の公園は色も形もさまざまな実やタネが目白押しめじろおです。でき

れば、見つけた実やタネを絵に描いたり写真を撮とったりしてみてください。より

一層いっそう思い出に残りますよ。



野鳥識別のポイント

自然解説員
いまむら ひろゆき
今村 裕之

○キジバト

背中ちゆうのうろこ模様が国鳥であるキジのめす雌に似ているので、キジバトといいます。
頸筋くびすじには青灰色しほの縞模様おすがあります。雄と雌を見分けるのは難しいです。鳴き声はデッポポと鳴きます。

飛んだ時、市内で繁殖するオオタカやツミのように☆1かっくう滑空するときがあります。このときは翼つばさを水平すいへいにたもちタカが飛んだように縄張りなわばを主張しゅちゆうします。

このような飛び方をディスプレイフライトディスプレイフライトといいます。ディスプレイフライトをするキジバトは繁殖期が近いです。キジバトの繁殖は季節は決まってなく、市内ろっこうだいの六高台地区で1月に親鳥から口移しえさで餌をもらう巣立ちヒナを見たことがあります。小鳥達は5～6月昆虫類、特に青虫さいせい（ガの幼虫）が多く発生するころが最盛期です。スズメは良くお米を食べる害鳥がいちゆうといわれますが子育て中は昆虫類が主食です。

キジバトは主食が植物質でヒナにピジョンミルクという栄養豊富な食べ物があります。雄も雌も口の中の喉のどの奥から出します。街中で繁殖するツバメのヒナは巣の中で大きな口をあけて餌をねだっていますがキジバトのヒナは親鳥の口の中へ自分のくちばし嘴くちばしを入れ喉の奥のピジョンミルクを飲むのです。街中の街路樹で生まれたばかりのヒナにピジョンミルクを与えているところを見たことがあります。親の嘴の両側から2羽のヒナが同時にピジョンミルクを飲んでいました。ハト類は水を飲む時、嘴を水の中に入れてそのままゴクゴクと飲みます（他の鳥は水を口に含んだら上を向いて流し込むように飲みます）

キジバトは1930年ころ（昭和の初めごろ）森林の中で☆2えいそう営巣えいそうしていたのでヤマバトと呼ばれていた時もありました。1970年頃（昭和45年ごろ）街中へ出て来て街路樹など営巣するようになりました。キジバトの巣は枝を重ねただけの雑のそな作りです。下から覗いたら卵が見えてしまいそうな巣です。なぜハトとい



うかという、ディスプレイフライトをするときなどパタパタと羽音を立てて飛び立ちます。その羽音からハトと呼ばれるようになりました。

キジバトは水浴びも砂浴びもします。気持良さそうに日光浴もします。

○カワラバト（ドバト）

カワラバトは伝書バトとして飼われていたものが野生化したもの、神社や公園など人が多く餌をもらえるところに集まります。

21世紀の森と広場のカワラバトは平成16年頃から少なくなり最近ではほとんど見かけなくなりました。色はさまざまで白いのから栗色原種に近い灰色のものまでいたのですが最近では黒っぽいのが多くなりました。

○シラコバト

松戸市内では主水新田あたりで少数が繁殖しています。21世紀の森と広場では見たことがありません。埼玉県どうようの鳥で天然記念物に指定されています。童謡の「ポッポポハトポッポ」はシラコバトのさえずりを聞いているとそのように聞こえます。

○モズ

モズは約20cm。鳥としては大きい方ではありませんが気は強いです。

雄成鳥のおす☆3過眼線は黒く良くサングラスをしているようにいいます。☆4

初列風切の根本に白い班があります。

雌の過眼線は茶色で初列風切に白班はありません。尾は長く全長の1/3以上の長さがあります。その尾を上

下にゆっくりと振ります。大きく回すようにも見えます。雌雄共嘴は鋭くタカのように曲がっていて獲物を引き干切って食べます。

9月に入るとキーキチキチキチ高い声で鳴きます。これをモズの高鳴きといいます。雄も雌も高鳴きをします。木の梢こすえなど高い所で良く鳴きます。ここは俺の（わたしの）縄張りなわばだぞ、他のモズはこの場所に来るなど見張っているの



日光浴をするキジバト



す。木の梢にいるもう一つの目的は動く昆虫類や爬虫類はちゅうるいを見つけているのです。動くものならミミズから水の中の魚まで捕つかまえます。大きい物では 30 cm くらいのヘビも食べます。小鳥だおそって襲おそいます。モズが飛んで来ると小鳥たちは散り散りに逃げます。



カエルのはやくい

モズは獲物えものを捕まえて食べる時、大きな獲物は木の枝に刺して引き千切ちぎって食べます。タカのように足が強くないので足で押さえることが出来ないのです。

木の枝に刺して^{★5}「はやくい」も作ります。動くものを食べるモズは、冬になると動く昆虫類がなかなかみつかりません。「はやくい」を食べて春を待ちます。

写真のカエルは2月7日に写したものです。カエルは11月には冬眠とうみんに入ってしまう。約3カ月すぎたカエルを食べ始めました。



イモムシのはやくい



ミミズのはやくい



イナゴのはやくい

モズは小鳥の鳴き真似をします。真冬に小鳥達の囀しきらない時季に囀が聞こえる時があります。良く見るとモズが歌っています。

モズを漢字で表わすと百舌と書きます、百種の小鳥の真まね似はしないと思いますがたくさんの小鳥の真似をします。

★★★★★語句説明★★★★★

- ★1 滑空・・・鳥が広げた羽を動かさずに飛ぶことなど
- ★2 営巢・・・動物が巣をつくること
- ★3 過眼線・・・鳥の顔の模様で、くちばしの基部から眼の前後を通る線
- ★4 初列風切・・・鳥の翼の先端部にある丈夫な羽
- ★5 はやくい・・・捕らえた虫・蛙などを木に刺しておくもの

パークセンター10月・11月の催し物

講座名	日時	定員	講師	費用	受付
園芸教室「収穫体験から ガリ作りまで!今年は新し ようが作り」	10月5日(土) 13:30 から 15:00	20名	自然解説員 丸尾三恵子氏	500 円	9/15 から
昆虫ウォッチング (雨天時は屋内)	10月6日(日) 10:00 から 11:30	25名	自解説員 加賀芳恵氏	無料	9/15 から
植物ウォッチング(雨天 時は屋内)	10月13日(日) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 相澤章仁氏	無料	9/15 から
園芸教室「秋まきの豆類の 管理と秋冬野菜の管理」	10月19日(土) 13:30 から 15:00	45名	みどりの相談員 橋本倉司氏	無料	9/15 から
バードウォッチング(雨天 時は観察舎)	10月26日(土) 13:30 から 15:00	25名	自然解説員 今村裕之氏	無料	9/15 から
みどりの講習会「冬の寄 せ植え」	10月26日(土) 13:30 から 15:00	20名	流山高枝教諭 大島孝之氏	1,000 円	10/15 から
植物ウォッチング (雨天時は屋内)	11月3日(日) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	10/1 から
自然観察会「佐々木洋のウ ルトライ!! ~公園にいる 生き物を見つけよう」	11月13日(日) 14:00 から 16:00	30名	プロナチュラリスト 佐々木洋氏	無料	10/15 から
園芸教室「そば打ち体験」	11月16日(土) 13:30 から 15:30	20名	みどりの相談員 野口 宣二氏	1,500 円	10/15 から
バードウォッチング(雨天 時は観察舎)	11月17日(日) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 直井 宏氏	無料	10/15 から
森の手づくり教室「クリス マスに飾るコウリヤンの飾りぼ うきづくり」	11月17日(日) 13:30 2から 15:30	20名	辺の会	200 円	10/15 から
自然観察会「紅葉と森の 実りの観察会」	11月24日(日) 10:00 から 12:00	20名	森林インストラクター 栗田吉治氏	無料	10/15 から
園芸教室「おどり葉ボタ ンの寄せ植え」	11月27日(水) 13:30~15:00	24名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2,000 円	10/15 から
みどりの講習会「クリスマ スを素敵に演出するアレ ンジメント」	11月30日(土) 13:30 から 15:30	36名	(社)日本フラワー デザイナー協会 吉田エリコ氏	2,000 円	10/15 から
クズのついでクリスマスリ ースを作ろう	11月30日(土) 13:00 から 15:00	材料がな くなるまで	里やま Q のみな さん	無料	当日 受付

満員

満員

※すべての催し物が予約制となっております。電話、または直接パークセンター窓口で
ご確認のうえ、お申し込みください。

発行日：2013年10月1日
発行：21世紀の森と広場パークセンター
開館：9:00~16:30
(11月1日~2月28日 9:00~16:00)
月曜休館(祝日開館/翌日休館)
〒270-2252 松戸市千駄堀269
TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん